



南部町

議会だより



<http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>



南部町消防団出初式



塩沢薬師堂(大塩区)

- ◆ 一般会計・特別会計補正予算 (P3~P4)
- ◆ 議員定数削減 (P5)
- ◆ ドクターヘリポート整備 (P6)
- ◆ 台風災害復旧予算 (P6)
- ◆ 旧山古志村研修 (P7)
- ◆ 5議員が町政を問う (P8~P12)

新年のご挨拶



南部町議会議長 堀之内 可和

新年明けましておめでとござい
ます。

町民の皆様には、ご家族お揃い
で輝かしき新年を、お迎えのこと
とお慶び申し上げます。

議会を代表いたしまして年頭の
ご挨拶を申し上げます。

平素町民の皆様には、議会に対
し、温かいご理解と絶大なる支
援、ご協力を賜わり、厚く御礼を
申し上げます。

私は議長として2年目を迎えて
いますが、議会は行政と住民との
架け橋であり、行政のチェック機
関でもあります。

議会と行政は、互いに議論を尽
くし、住み良い町づくりのために、
努力を積み重ねて行くことが、重
要であります。

さて、昨年を振り返ってみます
と、3月11日発生の地震、津波に
よる、未曾有の大災害であります。

一日も早い復旧復興を願うもので
あります。

それとともに福島原子力発電所
の被害及び事故に、政府は十分な
ケアをしていく責任があると思っ
ます。

政治、経済も混迷状態が依然と
して続いておりますが、一日も早
く好転することを願っています。

我町では、4月に町長選挙が執
行され、佐野和広新町長が誕生し、
すでに8カ月が経過し、何事にも
真摯な態度で、チャレンジしてい
る姿に、大変好感がもたれます。

議会としても、活力ある地域づ
くりの実現に向けて、町長と議論
を尽くしてゆく所存であります。

3 中学校の統合も、4月1日か
らスタートし、学業、部活動に一
体となって取り組んでいる姿を見
て、生徒達の順応性の高さに安心
しました。

中部横断自動車道の建設工事も、
着々と進められ、道の駅構想も議
論されており、町の活性化に多い

に期待が寄せられています。

本町にとって、経験したこと
のない大きな災害の発生がありまし
た。9月の台風15号であります。

町道佐野線の崩落による佐野地
区の孤立、田、畑、山林、道路等
に大きな被害が発生したが、町と
連携し、臨時議会をどの町よりも
早く開催し、復旧に向けての予算
を可決しました。

光ファイバーの敷設工事も3月に
は完成いたします。更なる町の活
性化が図られることを期待します。

近年は地方自治体をとりまく行
政環境も一段と厳しく、健全な
財政運営が求められており、経費
の節減に努めてゆく事が大切であ
ると思います。

議会としても、人口減少や、経費の
削減を考慮し、自らが身を切る決
断をし、次回の町議選から定数を
2名削減し、12名と決定しました。
議会は元気な活力ある町づくり
を目指し、議会としての責任を果
して行く所存でありますので町民
の皆様のご支援、ご協力を
お願い申し上げます。

本年が、町民の皆様にとって素
晴らしい年となりますとともに、
御健勝、御多幸を祈念いたしまし
て、年頭のご挨拶いたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

南部町議会議員

堀之内	鍋田	仲亀	佐野	木内	佐野	小林	遠藤	萩原	内田	篠持	望月	市川
可和	幹雄	七郎	哲也	利明	礼三	福雄	雄一	敬一	大明	雅	将名	強

7億1,906万7千円を追加 (地方債元金借換分 5億4,000万円を含む)

- 公共土木災害復旧費 1億2,400万円
- 農林水産災害復旧費 4,340万円
- ドクターヘリ場外離着陸場整備費 747万円
- やまなし農業ルネサンス支援事業費 467万円
- 特定鳥獣保護管理事業費 135万円
- 太陽光発電システム設置事業費 100万円

一般会計

補正額は、7億1,906万7千円を追加し、予算の総額は、65億7,545万4千円です。

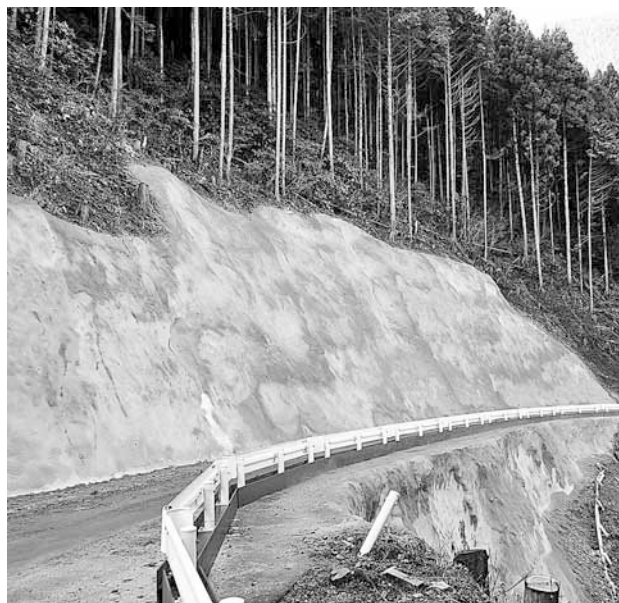
主な使いみちは、総務管理費、保健衛生費、農林業費、災害復旧費等です。

(賛成・全員)

平成23年度12月定例会は、13日に開会し、条例の改正1件、一般会計補正予算、特別会計補正予算5件、発議2件の合計9件のすべてを可決し、16日閉会した。



ドクターヘリポート予定地 (陵草)



佐野線復旧状況

5会計総額 3,921万8千円を追加

○ 医薬材料費

2,030万円

○ 退職被保険者等療養給付費

1,879万円

簡易水道

補正額は、213万8千円を減額し、予算の総額は、3億2,225万3千円です。
主な減額は、一般管理費西部簡易水道改良費等です。
(賛成・全員)

指定居宅サービス

補正額は、261万4千円を減額し、予算の総額は、5,736万1千円です。
主な減額は、介護予防サービス計画事業費の人員費等です。
(賛成・全員)

国民健康保険

事業勘定
補正額は、2,375万9千円を追加し、予算の総額は、10億150万円です。
主な使いみちは、退職被保険者等療養給付費、退職被保険者等高額療養費等です。

直営南部診療施設勘定

補正額は、1,142万4千円を追加し、予算の総額は、1億6,962万6千円です。
主な使いみちは、医薬材料費等です。

直営万沢診療施設勘定

補正額は、933万9千円を追加し、予算の総額は、7,833万3千円です。主な使いみちは、医薬材料費等です。
(賛成・全員)

介護保険

補正額は、57万円を減額し、予算の総額は、10億17万3千円です。
地域支援事業費の人員費の減額です。
(賛成・全員)

後期高齢者医療

補正額は、1万8千円を追加し、予算の総額は、2億3,984万1千円です。
一般管理費の人員費の増額です。
(賛成・全員)

定例監査報告

5課を対象に、10月末日までの事務の執行等について、監査した結果、計画どおり適正に執行されているものと認められた。

なお、次の事項については、特に配慮するよう求められた。

・総務課

平成17年度を基準として、26年度までの定員適正化計画が策定され、計画数は達成されていますが、なお、一層定員数を精査し、適正な定員管理に努められたい。

・建設課

台風12号、15号において、大きな災害を受け、応急的対応により仮復旧をしたが、県の査定後は、早急な復旧に努められたい。中部横断自動車道については、国、県に要望活動を強力に推進されたい。町営住宅については、若者が住みたくなるような、住宅の検討を望む。

・産業振興課

農業従事者の高齢化や、鳥獣被害が深刻な問題となっており、労働力軽減の環境整備、狩猟者確保の制度確立や、広域的な防除柵設置等を促進されたい。

林業面では、町内森林のさらなる荒廃が懸念されるので、路網の計画的な整備を図り、林業事業者との連携にて、高齢級林の間伐の推進等を図られたい。

・生涯学習課

各種教室、講座の中で参加者が数名という教室もある中で、対策を講じられたい。地域の分館の多くは災害時の避難場所として指定されているので、防災備品の整備等を指導されたい。

・生涯スポーツ課

スポーツグループの育成や、スポーツ指導者の養成を図り、一人一スポーツを推進されたい。スポーツセンターでは、レッスンスルールの改修や、利用者ニーズを反映させた各種教室の開催により利用者数及び利用収入が伸びているので、なお、一層努力されたい。

条例の 制定・改正

○南部町税条例の一部改正

寄付金控除対象となる団体の拡充と寄付金額の引き下げ等の改正

(賛成・全員)

発議

議員定数削減

○南部町議会の議員の定数を定める条例の一部改正

今後ますます厳しさを増すと予想される本町の財政状況と人口の減少等に鑑み、議員定数を現行の14人から12人とする。

(賛成・全員)

○30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書の提出

全国どこでも機会均等に

定水準の教育が受けられる豊かな教育環境を整備し、30人以下学級実現を図るために意見書を提出する。

(賛成・全員)

臨時議会

第5回臨時議会は、11月28日に開会し、条例の一部改正を一件可決し同日閉会した。

○職員給与条例の改正

山梨県人事委員会勧告等にかんがみ、南部町職員給与を減額改定。

(賛成・全員)

議員全員協議会

9月21日、10月17日、11月2日の3回にわたり、議員定数見直しや常任委員会の傍聴等について協議し、次のとおり確認した。

○財政状況や人口減に伴い、議員定数を2人減とし、定数を12人とする条例改正を12月定例会で、議員発議すること。

○会議録を町のホームページで公開すること。

○予算決算等の審議が委員会へ付託された場合、町民の委員会審査の傍聴を可とすること。

○一般質問を一問一答方式とすること。

現地視察報告

調査日

12月15日(木)

調査ヶ所

- ・佐野共同製茶組合
- ・JAふじかわ農業協同組合
- ・南部新田水路
- ・ドクターヘリポート予定地 (徳間・陵草)

○佐野共同製茶組合に対する、やまなし農業ルネサンス支援事業の火炉設備と、これに付属する煙突、ガスバーナー等の確認と稼働時の状況についての説明を受けた。

○JAふじかわ内船製茶工場

の、やまなし農業ルネサンス支援事業による、全自動ガス包装機と、印字装置、計量機等周辺設備一式について説明を受けた。

○南部新田水路の復旧工事の視察、台風15号による災害状況について説明を受けた。

○徳間スポーツ広場 (富士地内)

○陵草スポーツ広場 (万沢地内)

ドクターヘリ場外離着陸場建設予定地2カ所の視察。ドクターヘリの離着陸方向の確認、着陸場所の舗装、ライン表示や吹き流し等の説明を受け現地を確認した。



佐野共同製茶組合

総括質疑

寄附金控除2千円から

問 今年度の税制改正の説明を。

答 今年度の税制改正の説明を。

5千円から、2千円になったことと、国税の罰則が強化されたことにもない課税の不申告に対する過料が、3万円から10万円に引き上げられました。

問 特別土地保有税の内容は。

答 課税の対象は、土地の合計面積が1ha以上の土地で、税率は保有分が1.4%、取得分が3.0%です。なお、経済不況、土地の流動化促進を図るため、15年度以降、新たに課税されていません。

問 光伝送路の保守管理委託料の説明を。

答 現在も情報化敷設

工事は行われているが、総務課が所管する通信事業は、すでに万沢局は4月から、富河局は11月から、南部局は24年3月から共用することで、NTTとのIRU契約に基づき、伝送路貸付料が入ってくることで、保守管理委託料を支払う行為が発生したので補正した。

地域で支えあい体制づくりのため

問 要援護者等福祉マップ制作委託料と公用車購入の説明を。

福祉保健課長 個人情報のため、内部資料として考えていますが、要援護者や障害者等の見守り支援、災害時の避難計画等にも反映させるため、対象者の住宅等がわかるマップを作成するものです。
公用車の購入は、走行距離17kmを越えているリハビリ教室等に利用しているワゴン車の買い替えです。

ドクターヘリポート 徳間と陵草スポーツ広場へ

問 ドクターヘリの場外離着陸場整備事業の説明を。

福祉保健課長 緊急医療の充実に目的を、徳間・陵草の両スポーツ広場の一部(20m×20m)を舗装整備し、離着陸可能にします。限度額300万円の2分の1が補助されます。

子育て医療費助成金

問 他の市町村で不正受給問題があり、申請書のみで南部町でも支給したような報道があったが、領収書の添付は。

子育て支援課長 子育て医療助成金は、領収書が無くても、医療機関の証明があれば、申請要件を満たしていたため、助成金を支給していた。
今後は、一層の事務の正確をきすため、領収書の添

付を求めます。

(賛成・全員)

台風の災害査定

問 国の災害査定を受けた力所数と査定額・補助率は。

建設課長 林道災害は、6路線8カ所、4,355万円、補助率は65%です。町道災害は、5路線11カ所で補助率は66.7%です。査定額は3億1,274万円です。

公債費の借換え

問 町債5億4,000万円の借換え理由は。

財政課長 借入時の契約条件により、今回借換予算を計上しました。

簡易水道会計

問 西部簡易水道改良事業委託料の説明を。

水道環境課長 老朽化した柳島地内の県道からビヨンス裏の農道間、100mの敷設替え測量設計委託料です。

問 使用料及び手数料の減額の説明を。

水道環境課長 例年給水人口、使用水量の減少率を1%とみてきたが、近年、急激に3%の減少が見られ、減額補正した。

国保会計の現状

問 本町の国保会計は、県内において、国保税は低く、逆に、医療費が高いと聞か、今後の動向は。

住民課長 23年度の本会計の運営は、税率改正等で幾分好転しているが、今後も、医療費等の状況について、注視して行きます。

記念の1つ♪...

お世話になった南部橋の解体



震災地「旧山古志村」を研修

目的

総務建設、文教厚生各委員会研修を平成16年に発生した新潟中越地震で、壊滅的な被災にみまわれた山古志地域を訪問し、東海地震で甚大な被害が想定される当町の危機管理体制づくりの参考とする。

研修内容

本年は、例年になく災害の多い年になったことから、毎年実施している各委員会の研修を合同で行うこととした。

東北地域の震災を研修地とすることを考えたが、南部町で予想される震災は、津波より地震による土砂崩落の災害が大きいの予想のもとに、7年前に中越地震で甚大な被害を受けた長岡市山古志地域を研修地と決定した。

なお、今回の研修には、町長と交通防災課の関係者にも研修への参加を要請した。

地震発生時の状況

平成16年10月23日 pm 5時57分 M6.8の新潟県中越地震発生、

全集落14地区が孤立状態となり、指定の避難所山古志中学へ避難することがほとんどできない状態であった。

当時の山古志村の戸数は690戸、人口2,167人であった。

人的被害

避難は区長を中心に消防団の協力により、まずガス、電気を中心に火の元の安全の確保が図られた。このため、火災の発生は1件もなく、死者5人、負傷者25人と、被害の甚大さからすると、最小限の人的被害に、食い止めることができた大きな要因であった事が伺える。

避難状況

翌々日には、避難指示により全村民が、隣の長岡市に移動し「山古志村中越地震対策本部」が設置された。

避難所生活が始まったが、説明によると、10日後に行われた避難所の集落毎の再編が、村民の心の負担を軽くするのにも大変良かったことであった。



土砂に埋れた道路と住宅

12月10日に仮設住宅の入居が始まり、10日余りで入居が完了し、非常にスムーズであったとの感想を受けた。

復旧・復興・支援

山古志村が、長岡市と合併後の翌17年8月に新潟県が策定した「新潟県中越大地震復興計画」に基づき、国県の支援と指導が本格化したことにより、震災時無謀とも思える村長の「3年後には村へ全員が戻る」との目標が、現実のものとなることを確信した。

その間に、全国から励ましと支援が寄せられたことにより、

と考えられた。

総括

今回の研修で、いずれは、来るであろう東海沖大地震を考えると、わが町の備えをどうしてゆくのかが、交通防災課を中心として真剣に考えて行かなければならないことと、東日本大震災とは、規模は、違うものの災害に対する考え方は、全て同じである事を痛切に感じることができた研修であった。

最後に、議員としての町の災害に対する心構えを、尚一層深めるために、今後も機会をとらえて研修する必要があることを実感しました。

広報委員研修を実施

広報編集委員会は、10月13日、全国町村議会広報コンクールで、優秀な成績をおさめている群馬県昭和村を訪問した。有意義な意見交換ができ、今後の議会だよりの作成に、大変参考となりました。



昭和村研修

一般質問

ここが聞きたい!!

5議員が問う

問

老朽化した学校給食調理場の対応は

答

統合を含め改修を 前向きに検討

萩原 敬 議員



問

学校給食調理場は、児童生徒にとって大事な施設だが、現在の施設は南部調理場が昭和45年、富沢調理場が昭和48年に建設され、その後両施設とも改修されたが、老朽化がかなり進んでいる状態が見受けられる。南部調理場は耐震化もされておらず、食中毒や感染予防対策も、40年が経過し

た施設だと職員の努力にも限界があると思われれます。合併特例債が適用される期限内に改修する必要があると思います。尚、改修計画を立てる場合は、職員が働きやすく環境を整えた施設を建設するよう要望致します。

教育委員長

食育は心身の成長に・人格の形成に大きな影響を及ぼし、健全な精神、豊かな人間形成を育む基礎となっている。めまぐるしい変化する社会情勢の中で、手軽な食材の摂取、不規則な食生活や栄養の偏りなどの影響で肥満や生活習慣病などが増えている。現在、手づくり給食や地

産地消を取り

入れた給食提供を心掛けているが、衛生面で調理場のドライシステム化を図り、感染対策や食中毒対策を施すなど、細心の注意を払う必要がある。

南部調理場は、数回にわたり増改築がされているが、老朽化が進み耐震設備にはなっていない。

富沢調理場は平成10年度

に大規模改修を実施し、0157対策ができています。現在の全給食数は668食で、15年度に比べ225食減少している。児童生徒数の減少を受け、どちらか1カ所の調理場に対応できるよう、統合を含め時期を検討し、前向きに対応したい。



学校給食富沢共同調理場



内田大明 議員

問

民俗(郷土)資料館の設置を

答 文化の香る町づくりに整理、保存

問

合併前の旧南部町・富沢町の時代、先人より伝承された民俗資料や、遺跡等から発掘された出土品等を、重要な史料であると認識され、大切に保存されてきた収集品等が、新教育委員会に引き継がれていると思います。

合併して8年余が経過した現在それらの資料は旧富沢分は、元森村産業株式会社事務所に、旧南部分は、旧あじさい工房横の建物に保管してあると聞いております。

貴重な郷土文化の歴史を、子どもから大人までもが、再認識し、それらの民俗資料を紛失や、災害から守るためにも、町民に公開、展示できる機能を持った施設の設置を要望する。

町長

人と自然のかかわりの中で作り出され、生活や生産のための用具・用品など、伝承されてきた文化は、人々の生活に密接に関係したもので、町の歴史・文化等を正しく理解するためにも不可欠と考える。

祖先が残した貴重な遺産を伝えるために、統廃合で使用しなくなった学校を利用した管理や、展示場とするのも選択肢の一つであり、文化の香りが漂う町づくりのためにも、実現していきたい。

祖先が残した貴重な遺産を伝えるために、統廃合で使用しなくなった学校を利用した管理や、展示場とするのも選択肢の一つであり、文化の香りが漂う町づくりのためにも、実現していきたい。

教育委員長

民俗資料は貴重な財産、歴史・文化等の理解に欠かせず、将来の文化の発展向上の基礎をなすもので、管理・保存を図ることは、極めて重要と考える。教育委員会として再認識し、文化財審議委員会の意見を聞きながら、整理・保存方法を検討していきたい。



民俗資料



市川 強 議員

問 始まった光ファイバー

回線の使い方

答 光ファイバーで農業

情報を全国に発信

問

3月の67局に続き、11月より66局も光ファイバー回線の供用が始まり、24年3月の64局が開通で町内すべての世帯で供用が始まる。(1)農業情報ネットワークを構築し、全国に発信すると言うが現状はどうなっているか。(2)町の構想から5年以上たつたがまだ何も見えてこないが、町長は光ファイバーの活用をどのように考えているか。(3)FM告知端末も3月に供用開始となるが、今までのオフトーク通信との違いは、FM放送、AM放送が視聴できる以外は、大きな相違点はないと思われるが、どのような運用方法を考えているか。

(4)住宅と併用されていない事業所は有料で光ファイバー回線を整備し、FM告知端末を設置していく事業を行なっているが、現在までの状況を伺いたい。

町長 農業振興や、安心して暮らせるまちづくりなど、私の目指す方向と合致しますので私なりの考えと言うことで4点の質問に答えます。

(1)JAふじかわ、森林組合、情報センター職員等で農業情報システムに関する会議で検討を重ね、本稼動に向けて研修を実施している。ゆるキャラで「ちやきもりくん」も決定している。豊かな自然を守り、安らぎのある田舎町を目指し、農

林業の活性化を図りたい。

(2)光ファイバーの活用については行政情報、防災情報、以外にも福祉や医療、教育や地域コミュニケーションなど数々の分野で、有効活用できることは十分承知しているが、コンテンツの導入や、ハード設備などにコストもかかるので、費用対効果や運用のしやすさなども勘案しながら、今後、研究していきたいと考えている。

(3)FM告知端末の運用方法については、現在のオフトー

ク通信は、経年劣化が著しいことに加え、修理や代替機器の調達が困難になったことから、新たな伝達手段として、FM告知端末を導入します。性能としては大きな相違点はありませんが、Jアラート全国瞬時警報システムがスムーズに情報伝達できることです。

(4)単独事業における有料による光ファイバー整備と、告知端末の設置状況は現在、単独事業所と確認している数は、153事業所あります。そのうち、設置の申し込みをいただいたのが68事業所、全体の44.4%となっています。



FM告知放送受信機



木内利明 議員

問 急げ東海地震対策を

答 防災計画の見直しを進める

問 昨年、東日本の三重苦の大震災は、関係者の想定被害の認識の低さが大惨事を招いた。

わが町も東海地震の震源域にあるので、この度の大地震を教訓に、命と財産を守る地震対策について、以下3点を伺います。

(1) 命を救う住宅の耐震化を進めよう。
一般住宅の耐震化が進めば、人的被害は4分の1に軽減できるといわれます。地震災害の最大の減災策は、住宅の耐震化に係っているが、どう進めるのか。
(2) 安心して避難できる耐震化した施設を。

町が指定した避難所が耐震不足だと、本震と余震で倒壊すれば二次被害が予想されるので、避難所の耐震化と仮設住宅の用地確保を。
(3) 役立つ訓練と機能する防災組織を。

どのような災害にも対応できる訓練の充実と、防災組織に機動的に行動できる人命救助班や救援物資を搬送できる道路整備班などを創設してはどうか。

また、訓練や災害時には中心的な役割を担う、長期

在任防災リーダーの育成と各自自主防災会に配置を。

町長 (1) 今年度の耐震化診断事業は、20戸を予定している。耐震化費用が高額なことから耐震化の実績は低いのが現実です。今後、補助金の上乗せについても検討して行きたい。

また、家屋が倒壊しても一定の空間を確保出来る耐震シェルター設置支援事業もあるのですが、耐震診断と合せて一層の周知を図って行きたい。

(2) 120の施設のすべてが耐震施設ではないので、今後見直しをして行きたい。また、資材や食料の備蓄

とライフラインの確保は、指定業者と検討して行きます。仮設住宅の建設候補地は、富沢野球場、財務省占有地、アルカディア運動場、島尻スポーツ広場の4カ所を予定しています。

(3) 防災計画では、災害時の分担、分掌業務が決まっているが、東海地震を見据え、職員参集や、対策本部としての訓練を行って行きたい。

防災リーダーは、知識・経験が大切と思うので、任期については長期にわたりお願いしたいと考えている。災害時には、警察・消防との連携も大切であるので、防災計画見直しの為の防災会議を早急に招集したい。

※耐震シェルターとは、住宅の倒壊から、居住者の命を守るための安全な空間を確保する構造物です。(詳細は交通防災課へお問い合わせください。)



仲亀七郎 議員

問 町民の期待に 答える町政を

答 一汗かく心構えが 必要と考える

問 町長が就任して、8カ月になるうとしている今、町民の多くは、新町長に対して大きな期待を抱いております。

この町の将来に、どう向き合つて、住みよい町づくりの計画をするのか、胸を膨らませている事と思います。町の将来の展望を開くには、町長を先頭に、全職員の前にかかっている現実を踏まえ、町民のための町政のあり方は、どうあるのが望ましいか。

町内は中部横断自動車道の開通という明るい話題はあるが、開通までに時間がかかる。

少子高齢化が進行している町の将来に向け、町政の

かじ取りをどうとるのか、課題は山積している。

町政の心臓部で働く職員が、現状の縦割り業務を、常に変化する町内事情に対応できる、横への連携体制と心構えが求められる。

特に町民との関係が多い
税務課・産業振興課の2課
について、町長の考えを伺いたい。

町長 私のこれからの町政の舵取りへの期待を、ひしひしと感じ、さらに施策の実現のためには、職員一人ひとりが、町民のために大いに汗をかく心構えを強く求められているものと受け止めました。

税務課は自主財源の確保、

税負担の公平性を図るため、従来から管理職を先頭に、戸別訪問を実施している。

町民に厳しい財政状況を理解いただき、未納・滞納の解消を図り、徴収率は毎年、県内自治体でも上位にランクされている。他の課と関係する重複未納者対策として、納税者の状況を把握するため連絡を取り合い、今後は必要に応じ、共同で未収金の回収に取り組んでいきたい。

産業振興課は、町内5カ所の各財産区の現状と課題について、財産区議会・管理会の委員と事務局職員が現地踏査を行い、森林施策に必要な協議を重ねていきたい。

指定管理事業所は、現在4カ所の施設と契約を結び、現場視察や指定管理者と協議し、必要に応じ指導助言している。

この課の仕事は広範囲にわたっている。商工観光事業や有害鳥獣対策、中山間総合整備事業等があり、旧南部地区でも平成24年から29年で、農道7路線・水路20路線・圃場整備3カ所の大規模な基盤整備を図る予定で、町民のために一汗かくという心構えが必要と考えている。



指定管理事業所(道の駅とみざわ)

峡南広域行政組合 第2回定例会

●10月26日

専決処分

○23年度一般会計補正第1号
432万6千円を追加。主
な使いみちは、南分署の雨漏
り修理。

平成23年度補正予算

○一般会計補正第2号
4,682万7千円を追加。
主な使いみちは、高規格救急
車購入等。

○介護保険特別会計補正予算
第1号
繰越金を充当し102万2
千円を追加。使いみちは、ボ
イラー修理と備品購入。

平成22年度決算認定

○一般会計
○介護保険特別会計
○峡南ふるさと市町村圏特別
会計

3会計の決算を、全会一致
で認定。

正・副議長の改選

議長
○小林 福雄 議員(南部町)
副議長
○望月 健市 議員(早川町)

公平委員の改選

3人の公平委員を改選。
○佐野 清氏(南部町)
○大森 浩文氏(富士川町)
○渡邊 正弘氏(市川三郷町)

23年第1回臨時会

●11月28日

職員給与と条例の改正

山梨県人事委員会勧告等に
かんがみ、職員給与を減額
改定。

平成23年度補正予算

○一般会計補正予算第3号
133万9千円を追加。
主には、職員給与改定に

よる減額補正と、東日本救助
消防隊員の手当の増額、備品
購入。

○介護保険特別会計
補正予算第2号
7万9千円を追加。職員給
与改定による減額補正と基金
への積立。

○売買契約締結の承認
高規格救急車及び、高度救
命処置用機械購入契約の承認。
契約金額は、2,929万5
千円。

山梨県後期高齢者医療議会 平成23年度第2回定例会

●10月27日

○22年度一般会計決算認定
○22年度医療特別会計決算認定
○23年度一般会計補正第1号
○23年度医療特別会計補正第
1号

以上の4件を、全会一致で
可決承認。

議会の動き

10月

- 21日(金)・沖縄甲斐の塔巡拝団結団式及び説明会
- 24日(月)・山梨県市町村総合事務組合議会定例会
第140回山梨県都市計画審議会
- 町村議会運営委員長視察研修(25日まで)
- 26日(水)・峡南広域行政組合議会第2回定例会
- 27日(木)・総務建設常任委員会・文教厚生常任委員会行政視察研修(28日まで)
- 30日(日)・第9回南部町民俗文化祭芸能発表会
- 11月
- 2日(水)・議員全員協議会
- 議会広報コンクール表彰式及び研修会
- 水道委員会
- リニア中央幹線建設促進山梨県期成同盟会臨時総会
- 7日(月)・沖縄甲斐の塔慰霊祭(9日まで)
- 8日(火)・南部町戦没者慰霊祭
- 9日(水)・「2012年度予算関連要求」と暮らしを守る県内自治体キャラバン」来庁
- 10日(木)・町村広報編集委員長視察研修(11日まで)
- 町長旗争奪ゲートボール大会
- 23年度定例監査・現地視察(11日まで)
- 11日(金)・山梨県防災新館起工式
- 15日(木)・(財)町村議会議員公務災害補償等組合連合会理事会
- 16日(水)・第55回町村議長全国大会
- 24日(木)・例月出納検査
- 25日(金)・山梨県市町村総合事務組合臨

12月

- 26日(土)・時會
南部中学校校歌・校章制定、校旗樹立式
- 28日(月)・議会運営委員会
第5回臨時会
- 29日(火)・峡南広域行政組合議会第1回臨時会
- 30日(水)・町村広報編集委員長会議
町村議会運営委員長会議
- 1日(木)・議会運営委員会
- 2日(金)・町村議会議長会議
- 4日(日)・内船歌舞伎12月公演
- 7日(水)・第1回広報編集委員会
- 13日(火)・第4回定例会開会(1日目)
総務建設常任委員会
文教厚生常任委員会
15日(木)・本会議2日目(現地視察)
- 16日(金)・本会議3日目(閉会)
- 19日(月)・第141回山梨県都市計画審議会
- 20日(火)・例月出納検査
- 21日(水)・市町村振興協会理事会
- 27日(月)・第2回広報編集委員会
- 1月
- 4日(火)・仕事始め式
- 7日(土)・第9回南部町成人式
- 8日(日)・南部町消防団出初式
- 9日(月)・国際交流南部地域連絡協議会餅つき大会
- 10日(火)・町村長・町村議会議長新年互礼会
- 12日(木)・第3回広報編集委員会
- 13日(金)・老人クラブ連合会役員新年互礼会
- 17日(火)・第4回広報編集委員会
- 20日(金)・例月出納検査
- 22日(日)・第9回南部町駅伝大会
- 23日(月)・第5回広報編集委員会

「議会」を

傍聴して

佐野 さなゑ
(千歳区上)

このたび、初めて議会の傍聴をする機会を得ました。

10年余り前に、冠婚葬祭の簡素化が地域で話題になった事がありました。

町営ではありませんが農協で実施するセレモニーホールの事業に町が補助金を出すことになり現在の「セレモニーホールあじさい南部」ができました。

このことは町当局と議会の協議がなされたと聞いております。

以前は、葬儀のたびに、家の掃除や、家具の移動を行い、通夜には、夜寒いや、雨の日にも外で焼香を行い、近所の皆様に、2日から3日お手伝いをお願いし、大変でありました。

今まで不便なことを、前向きに考え積極的に変えることで快適な生活が出来るように

なることを実感した一例だと思います。

南部町には、現在各種女性団体に所属している方が、大勢いますが、バランスのとれた食事で、いつまでも健康で長生きをして頂く食生活を、研究している食生活推進員の方々が103名おります。

それぞれの団体で南部町の将来を女性の目で少しでも良くしようと考えております。

私たちの代表である議員の皆様が、真剣に建設的な議論をして下さっている様子を見て、女性団体も今回の傍聴を生かして議員さんや議会のことを身近に感ずることが、大切だと思いました。



町長と語る会

南部町に住んで



川 美 穂
(柳島区温井)

内船で20年以上過して、柳島に嫁ぎ早や7年半が過ぎました。

嫁いだ初めの年は、柳島区の行事に参加させてもらおうと「どこの嫁さんだい？良く柳島に来てくれたね」と声をかけてもらいました。

同時に、区のママさんバレーやソフトボールにも参加させてもらい、先輩ママさんや同年代の方々と交流が多くなりました。

約4年前に、よりバレーに力を入れることを部員全員で決め、1年を通して練習する事になりました。

当初は町の大会に勝つことが目標でしたが、週2回練習を行った結果、今では郡、県大会にも出場出来るようになりました。

また、子どもが生まれ育児

中心の新たな生活を送るようになるママ友や近所の方々との交流も多くなり、子どもと一緒に散歩していると挨拶されたり、気軽に声を掛けてもらう事があります。今では近所の方々の温かい見守りがあり、子供たちも自由に明るく育っているように思います。

そんなわが子も今年の春に小学校へ入学します。

南部町に生まれ育って、少子高齢化の影響により地域から子どもの数が減少し、近年、中学校の統合があり南部町が淋しくなった気がします。

また、昨年新南部橋の開通や中部横断道の工事が進められたりと、これからも町内の景色が変わりつつあります。昔ながらの良い景色を残しつつ町民が住みやすい町になってほしいと願っています。

私は、2年ほど前より福祉施設で働いています。

お年寄りとお話しさせていたたく機会が多くなり、老若男女が気兼ねなく交流を持ち、支え合える関係を地域で築いていけたらと思います。毎日

議会からのお知らせ

次の定例議会は、3月上旬に開会予定です。

本会議及び常任委員会を傍聴できますので、お気軽に事務局へお問い合わせください。

編集後記

▼昭和20年が戦後なら平成23年も、また、平成の戦後と言うべきものではないか。

▼激震・大震災・未曾有なる言葉が引用されるが果たしてそうなのか！

未曾有とは(いまだかつてあらず)とあるが千年前にも大震災はあった。いにしえの先人の教えはとおといと感じた平成23年が終わり。

▼平成24年は、何も無いことが幸せと初詣にふつと感じたが議員任期最終年、今年は今まで以上に、身を引き締め、絆を感じながら町政の監視役に務めたい。

(広報編集委員会委員)

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 内田大明 | 副委員長 | 簗持 雅 |
| | 鍋田幹雄 | | 萩原 敬 |
| | 望月將名 | | 市川 強 |